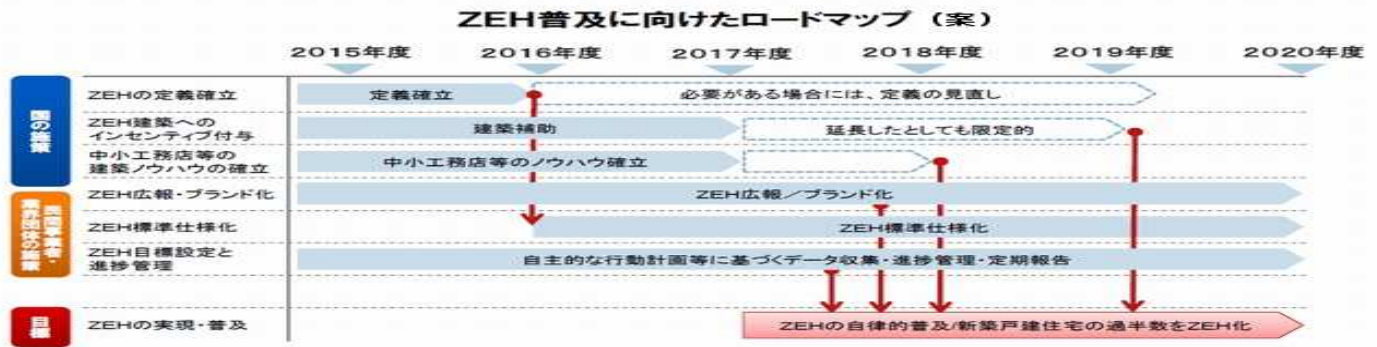




### 経産省、ZEH普及ロードマップ案を提示



経済産業省は9月4日、ゼロエネルギー住宅(ZEH)の普及に向けた具体的な施策・工程をまとめたロードマップの中間とりまとめの案を提示した。

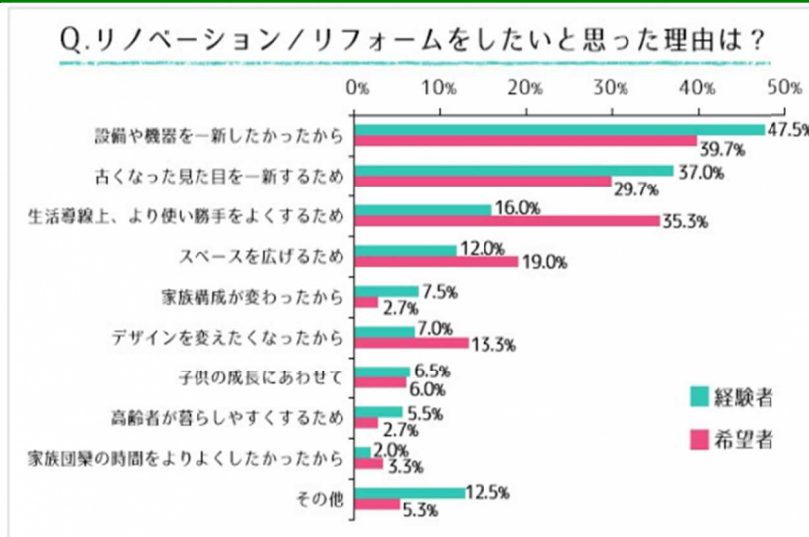
あいまいだったZEHの基準を今年度中に明確にするとともに、補助事業については住宅会社がZEHの普及に向けた広報活動や自主目標の設定と公表を行い、その進捗よく管理と目標達成を支援する方針を示した。9月17日まで意見を募集している。

案では狭義のZEHとZEHに準ずる「Nearly ZEH」(仮称)を設定する考えを示した。どちらも同じレベルの強化外皮規準を設ける方向。具体的な水準は1~8地域の「平成25年省エネルギー基準」を満たした上で、UA値を強化する。

- 1、2地域はUA値0.4W/m<sup>2</sup>K相当以下、3地域は同0.5相当以下、4~7地域は同0.6相当以下とする。再生可能エネルギーの導入が必須で、再生可能エネルギー分を加えた一次エネルギー消費量削減量が100%以上を狭義のZEHとし、同75%以上100%未満のものをNearly ZEHとする方針。目標設定については新築を対象とする。
- 2、また、どちらも再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量の削減も条件。

情報提供：新建ハウジング

### リフォームの理由、「設備や機器の一新」が1位に



「住宅リノベーション/リフォームに関する意識実態調査」

「ORICON STYLE」を運営するOricon Me (東京都港区)は、20代~40代の持ち家に住む既婚者を対象に、リノベーションやリフォームを実施したことがある経験者200名と、現在検討中の希望者300名を対象に「住宅リノベーション/リフォームに関する意識実態調査」を実施した。

リノベーションやリフォームをしようと思った理由は、「設備や機器を一新したかったから」が1位となり、機能面の重視することが今のトレンドということがうかがえた。

また、リフォームしたい場所の1位はキッチンで、時短や効率性といった使い勝手のよさを求める姿勢が鮮明となった。リノベーションやリフォームの経験者の95.5%が「リフォームやリノベーションをしてよかった」と回答している。

情報提供：新建ハウジング

### ダウ化工 既存製品より20%も厚みを減らせる、超高断熱スタイロフォーム



高断熱化ニーズが高まるなか、ダウ化工(東京都品川区)のスタイロフォーム押出発泡ポリスチレン断熱材「スタイロフォームFG」が、2014年の発売以来好評だ。

熱伝導率は0.022W/m·K以下。従来のスタイロフォームがもつすぐれた特徴(耐圧性、耐久性、難燃性、低吸湿性、低吸水性)を継承しながら、断熱性能を大幅に高めた。

既存製品よりも約20%厚みを低減できるため、床の高さや壁の厚みに制限のあるリフォームにも適する。

標準サイズは、(厚)30/40/50/75x(巾)910x(長)1820ミリ。

情報提供：新建ハウジング